

「晴耕雨読」



鈴鹿医療科学大学附属図書館 館長 藤原 芳朗

しとしと降る雨の梅雨時は、腰を据えて読書をしてみませんか。当地三重県出身の文学者の作品はいかがでしょうか。トリックス文庫には郷土出身作家の書籍が色々あります。

数多の作家のうち初めに指を折るのは、やはり文化勲章受章者の丹羽文雄でしょうか。父親が浄土真宗高田派の僧侶の関係か晩年の『親鸞』、『蓮如』の大作は感動を覚えます。次は、鈴鹿市石薬師生まれの佐佐木信綱。歌人であり国文学者としてつとに有名です。第一歌集『思い草』から『山と水と』まで12の歌集があります。唱歌『夏は来ぬ』の作詞者としても知られています。生家わきに資料館もありますので関心のある方は訪ねるのも一興です。

3人目は江戸川乱歩。明治20年、当時の三重県那賀郡名張町に生まれたが父祖の地は津。エドガー・アラン・ポーに因んでペンネームを江戸川乱歩にしたことは既知のこと。本格的な推理小説を著すほかに、幻想・怪奇な小説や『怪人20面相』などの少年向け読み物や海外の推理小説の紹介にも著名な足跡を残しています。ご自身の寄付を基金として推理作家の登竜門ともいえる「江戸川乱歩賞」を設け、その系譜が今に生きていてもいえる作家です。4人目としては、伊藤桂一をあげます。現在の四日市の生まれ。昭和36年『螢の川』で直木賞を受賞。『静かなるノモンハン』、『悲しき戦記』といった戦場ものから、時代小説でテレビ化された『風車の浜吉捕り物綴り』、詩集にも優れた業績が見られます。

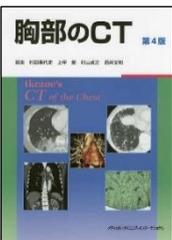
以上の作家のほかにも山村に深く根差したテーマを追い続ける宇江敏勝、歌人の生方たつゑ、詩人でエッセイストの梅川文男、主にテレビやラジオドラマで活躍した岸宏子、忘れてならないのは肉体派小説家と称せられた田村泰次郎は、三重郡富田村、現在の四日市の生まれ。

このように郷土出身の多士済々の書き残した書物はまさに汗牛充棟の感があります。ぜひ一度トリックス文庫に足を運ばれてはいかがでしょうか。ご案内申し上げます。

～両館の間での取り寄せ（デリバリー）もできます。ぜひ利用してください～



今月の新着案内



『胸部のCT(第4版)』
村田 喜代史他



『医療事故ゼロのための60の鉄則』
柴田 義朗



『子どもの精神分析的心理療法の基本』
鵜飼 奈津子



鵜飼 奈津子

附属図書館

『衛生薬学』
永沼 章他



白子分館



『なぜ生きる』
高森頭徹【監修】明橋大二他

附属図書館

図書館開館カレンダー

白子分館

【7月】

日	月	火	水	木	金	土
1 閉館	2	3	4	5	6	7
8 閉館	9	10	11	12	13	14 閉館
15 閉館	16 閉館	17	18	19	20	21
22 閉館	23	24	25	26	27	28
29 閉館	30	31				

*7月16日=海の日

曜日	等	開館時間	等	行事	等
月～金曜日	平常	9:00～21:00			
土曜日	休日開館	10:00～17:00		7/7、21、28休日開館	
開館時間	変更	9:00～17:00			
日・祝日		休館			

【7月】

日	月	火	水	木	金	土
1 閉館	2	3	4	5	6	7
8 閉館	9	10	11	12	13	14
15 閉館	16 閉館	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

*7月16日=海の日 *【白子分館】7/17(火)～7/31(火)=学外者利用制限日

曜日	等	開館時間	等	行事	等
月～金曜日	平常	9:00～21:00			
土曜日	休日開館	10:00～17:00		7/22、29休日開館	
開館時間	変更	9:00～17:00			
日・祝日		休館			



読みたい本が書庫にある時は？

OPACの検索画面で、配架場所が「書庫」になっている本を見たことはありませんか？
 書庫(閉架書庫)には、書架に置いていない図書や、雑誌のバックナンバーが所蔵されています。
 書庫にある図書や雑誌も、書架にある本と同じように貸出・複写をすることができます。
 そのため、レポートや卒論など、論文の作成に必要な文献がある時に利用する人が多いようです。
 「読みたい本があるけれど、書架に見つからない。」「この雑誌のもっと古いものはないの?」…
 そんな時は書庫に所蔵されている場合がありますので、一度 OPAC で調べてみてください。
 また、千代崎本館では、書庫に入って直接文献を探すこともできます。
 書庫を利用したい時は、お気軽にカウンターまでお声がけください。(一部複写・貸出できない資料もあります。)

図書	
配架場所	巻次
千代崎・1F書庫	

↑ OPACの検索画面。書庫ってどこだろう。



↑ 千代崎本館の書庫

↑ 白子分館の書庫

ことばの図書館



しょうねん お やす がく な が た いっすん こういん かる べ
少年 老い易く 学成り難し 一寸の光陰 軽んず可からず
 いま さ ちとう しゅんそう ゆめ かいまえ ごは すで しゅうせい
未だ覚めず池塘 春 草の夢 階前の梧葉 已に秋声

千代崎本館の入口右側に掛けてあるこの書を知っていますか？
 これは中国の思想家、朱熹(しゆき)のことばだと言われています。
 「若者(わか)はあつという間に年をとってしまい、学問(がくもん)はなかなか成就(じゆうじゆ)に
 くい。だから、少しの時間(じかん)でも軽々(けいけい)しく過ごしてはいけない。」という
 意味で、学問(がくもん)を修める若者(わか)である学生(がくせい)のみなさんには
 ぴったりのことばではないでしょうか。毎(まい)日を大切(たいせつ)に過(すご)したい
 ものです。

今月の展示コーナー 7月中旬頃まで展示しています。

附属図書館 白子分館
 「レポート・論文の書き方」 「7/16 は海の日」～心と体を整えよう



編集後記



日ごとに蒸し暑さが増していき、いよいよ本格的な夏の到来を感じます。そんな暑さに負けないくらい試験勉強に“熱”が入る方(かた)のために、図書館は試験期間(しけんきかん)の1週間前(しゅうかんまへ)から期間中(きかんちゆう)、千代崎(ちよさき)は土曜日(どようび)・白子(しろこ)は日曜日(にちようび)も開館(かいگان)しています。ぜひご利用(ごりよう)ください。

鈴鹿医療科学大学 附属図書館だより
 7月号 発行日：2018年7月5日
 編集・発行：鈴鹿医療科学大学附属図書館